

法隆寺に見られる建築様式は、大陸の仏教建造物を日本独自の寺院建築に取り入れた顕著な例であるとともに、その後の日本の建築様式に多大な影響を及ぼしました。これは、日本に仏教が伝来した()時代の建築様式を伝えるものとして遺産価値が高い、とされています。()に入る語句は、次のどれですか。

1. 弥生 2. 飛鳥 3. 奈良 4. 平安

解説 「法隆寺地域の仏教建造物群」では、奈良・斑鳩^{いかるが}の法隆寺と法起寺の2件が世界遺産として登録されています。現存する世界最古の木造建造物11棟が含まれているうえ、いずれの建物も優れた芸術性を有している点で高く評価されています。

法隆寺は、聖徳太子と推古天皇が607(推古15)年に創建した若草伽藍(斑鳩寺)が起源です。若草伽藍は670(天智9)年に焼失しますが、8世紀初頭に再建され、現在の法隆寺の起源となりました。

敷地面積18万7000㎡、125棟もの建物が並び法隆寺境内は、西院と東院の2つの伽藍群で構成されています。このうち、若草伽藍を起源とする西院伽藍は、金堂、五重塔、大講堂、中門、回廊、経蔵、鐘楼などの建物からなり、世界最古の木造建造物群として、また日本に仏教が伝来した飛鳥時代の建築様式を伝えるものとして、きわめて高い遺産価値を持っています。

法隆寺の代表的な建造物

「金堂」は法隆寺でもっとも古い建物で、現存する世界最古の木造建築です。近年の調査では711(和銅4)年頃までに再建されたとする見方が有力となっています。

「五重塔」は高さ31.6m。世界最古の木造の塔です。680(天武9)～690(持統4)年頃着工され、711(和銅4)年頃に完成したと考えられています。「中門」は日本最古の木造の門です。五重塔より後の着工と考えられていますが、構造や装飾には金堂や五重塔と同じく飛鳥時代の建築様式が見られます。

「^{ゆめどの}夢殿」は、聖徳太子の住居(斑鳩宮)跡に建てられた上宮王院をもととする東院伽藍で、中心をなす現存最古の八角円堂です。739(天平11)年頃に創建されました。北側には同じく東院創建当時の建物である伝法堂があります。

正解：2 (正解率83%)